

(仮称)

## 鉄筋工事施工計画書

平成 年 月

承 諾			

請負者 建設・建設共同企業体

現場代理人	監理技術者	工事担当者	協力施工会社

株式会社 門井工業

## 目 次

### 1. 共通事項

#### 1.1. 総 則

1.1.1. 適用範囲

1.1.2. 適用図書

1.1.3. 疑義、変更

1.1.4. その他

#### 1.2. 工事概要

1.2.1. 工事概要書

1.2.2. 鉄筋工事概要書

#### 1.3. 工程表

#### 1.4. 施工管理体制

### 2. 一般事項

#### 2.1. 施工要領

2.1.1. 施工計画確認事項

2.1.2. 要求品質・設計仕様

2.1.3. 鉄筋工事施工フロー

2.1.4. 自主検査表

2.1.4.1-6 配筋チェックシート

### 3. 安全・衛生管理

#### 3.1. 安全・衛生管理

#### 3.2. 緊急時連絡体制

#### 3.3. 現場入場ルート図

### 4. その他

#### 4.1. チェックシート

4.1.1. 作業前、作業中、終了後のチェックおよび責任分担

4.1.2. 火気使用時の確認表(計画時)

#### 4.2. 資格関係

4.2.1. 有資格者一覧表及び免許証写し等

#### 4.3. その他

## 1. 共通事項

### 1.1. 総則

#### 1.1.1. 適用範囲

本施工計画書は 新築工事における  
鉄筋工事の現場施工管理方針として適用する。

#### 1.1.2. 適用図書

本工事は下記の仕様書及び設計図に基づいて施工する。

1) 本工事の建築設計図書及び特記仕様書

2) 現場説明書、現場説明事項、質疑回答書及び追加変更指示書

3) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (平成 19 年版)

4) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

建築工事監理指針 上・下巻 (平成 19 年版)

5) 日本建築学会監修

建築工事標準仕様書・同解説書 JASS 5 鉄筋コンクリート工事  
(2003年2月改訂版)

2009

#### 1.1.3. 疑義、変更

本施工計画書に記載なき事項や、記載事項の質疑変更に関しては監督  
員・監理技術者・工事担当者と協議の上で承諾を得て施工する。

#### 1.1.4. その他

本施工計画書に基づき主たる工事の詳細については、施工要領書を作成し  
工事内容及び、作業の進め方等について作業担当者、施工業者に周知徹  
底させて施工品質の確保に用いる。

支店名 横浜支店 工事コード GA11120031		2. 作業所概要				P-3	
工事件名	(仮称)由比ガ浜2丁目マンション計画			建築主	菱重工ステート株式会社 担当者 吉澤 豊		
工事場所	神奈川県鎌倉市由比ガ浜2丁目1050番地25他2筆			住所	東京都港区芝5丁目34番6号 Tel: 03-3451-1174		
工事事務所	神奈川県鎌倉市由比ガ浜2丁目3-23 小森ハイツ103			発注者	菱重工ステート株式会社 担当者 吉澤 豊		
電話・FAX	Tel: 0467-24-3621 Fax: 0467-24-3622			住所	東京都港区芝5丁目34番6号 Tel: 03-3451-1174		
実施工期	着工: 平成24年3月2日 延工期 竣工: 平成25年3月31日 13.0ヶ月			設計者	株式会社NEOデザイン 担当者 小池 正宏		
建物用途	分譲共同住宅 21戸			構造設計者	久保田設計事務所 担当者 久保田 勤		
工事価格		施工単価	円/坪	住所	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-33-12 コモドリビル101 Tel: 03-5363-1052		
建築確認	許可日 平成24年2月2日 第H23普及教00187号			監理者	株式会社NEOデザイン 担当者 小池 正宏		
開発行為	有 許可番号: 鎌倉市指令開指 第7-16号			住所	神奈川県鎌倉市相模が丘3-72-13 Tel: 042-702-5303		
用途地域	第1種住居地域		防火地域	準防火地域	確認提出先 一般財団法人 住宅普及協会		
工事部長	有田 斎	主任	下田 圭太郎		所轄消防署 鎌倉消防署		
所長	岸本 康彦	設備担当	桐山 貴		監督署 藤沢労働基準監督署		
設計施工	意匠: 一 構造: 一 設備: 一			施工者 JVのみ記載(構成会社比率)			
■ 建物概要					■ 施工概要		
構造規模	構造 地下 RC造 最大スパン 3.16m 地上 RC造				仮設工事	外部足場: 枠組足場A-6117SP、プラケット足場、抱き足場 揚重機: (船体) ラフタークレーン25t (仕上) スペースリフトSPL-1000M型	
	地下 1階 地上 4階・塔屋 - 階				土工事	根伐工法: 山留壁オーバーカット工法 根切深さ -4.33m 総根切量 1,909.0 m <sup>3</sup> 総埋戻量 1192.0 m <sup>3</sup> 残土処分 1,909.0 m <sup>3</sup>	
面積	敷地面積 884.62 m <sup>2</sup> 268.07 坪 建築面積 529.82 m <sup>2</sup> 160.55 坪 延床面積 1,769.07 m <sup>2</sup> 536.08 坪 施延床面積 2,213.68 m <sup>2</sup> 670.81 坪				地下工事	山留壁: 親杭横矢板工法 切梁: 斜梁・火打 山留壁面積 690.0 m <sup>2</sup> 切梁段数 1 段	
	高さ	軒高 13.53m 最高高さ 14.03m 基準階高 2.96m				杭工事	種類: PHC杭 SC杭 最大杭径 0.6m 総本数 37本 最大長さ 27.0m
深さ		建物深さ - 4.22m 地下水位 - 5.41m				コンクリート工事	総数量 1,889.5 m <sup>3</sup> 基準階 272.1 m <sup>3</sup> 設計基準強度 Fc: 18 ~ 36 N/mm <sup>2</sup> 耐久設計基準強度 Fd 長期 30 N/mm <sup>2</sup> 特殊コン: 暑中 - - -
	外装注)	45三丁掛タイル 80%		ボーダータイル 20%		型枠工事	総数量 9,122.70 m <sup>2</sup> 基準階 1,919.80 m <sup>2</sup> 床版工法: ノイズフリー・ハニカムボイド工法
屋上防水注)		断熱露出AS防水 80% ケルン系塗膜防水 5%		外断熱AS防水 15%		鉄筋工事	総数量 311.2 ton 基準階 51.9 ton 棒鋼種類: SD295A SD345 高強度剪断補強筋 継手: 圧接 鉄筋最大径: D25
	設備工事	電気設備: 概要は別紙による (会社名) 矢口電気 請負形態: 一次				鉄骨工事	本体総数量 — ton 現場溶接: — 鋼材種類: —
衛生設備: 概要は別紙による (会社名) 根布工業 請負形態: 一次				外壁工事	(鉄骨の場合のみ) —		
空調設備: 概要は別紙による (会社名) 根布工業 請負形態: 一次				機械式駐車	昇降式 式 12台 (会社名) 東京パーキング 請負形態: 一次		
昇降設備: 概要は別紙による (会社名) 三菱エレベータ 請負形態: 二次				外構工事	施工面積 113.19 m <sup>2</sup> 主要仕様: アスファルト舗装		
アフターサービス規約		施主仕様による	特筆すべき仕様・工法 (別途工事等)	発掘調査有			
住宅性能評価	取得する						
消防特定共住基準							

注) 合計を100%とする。 \* 施工単価=工事価格/施工延床面積

改訂: 2009/01/15

## 1.2.工事概要

### 1.2.1. 工事概要書

工事名称 新築工事  
工事場所 県市町  
発注者  
設計  
監理  
請負者 建設・建設共同企業体  
工期 自平成 年 月 日～至平成 年 月 日  
地域・地区 第1種住居地域・都市計画区域・22条指定区域  
土地区画整理事業計画区域・防火指定なし  
許容容積率 (許容最大延床面積 m<sup>2</sup>)  
許容建蔽率 (許容最大建築面積 m<sup>2</sup>)  
その他の指定 日影規制 ( - 、 - )  
主要用途  
敷地面積 m<sup>2</sup>  
建築面積 m<sup>2</sup>  
建蔽率 %  
延べ床面積 m<sup>2</sup>  
容積率 %  
建物規模 地上 階塔屋 階地下 階  
建物の構造 造  
建物の高さ 1階床高 SGL+ m  
最高部の高さ SGL+ m  
当該工事施工者  
当該工事工程 自平成 年 月 日～至平成 年 月 日

## 2.1.施工要領

### 2.1.1. 鉄筋工事工事施工計画確認事項

確認の事項	該当の有無	記事 (該当(有)の場合は、必ず記入すること)
<b>① 鉄筋工事</b>		
1.準備計画		
(1) 仕様書の確認	a. 規格品か相当品か,異形棒鋼はSD30かSD35か	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b. 繰手方法	<input type="checkbox"/>	
c. 定着長さの確認等	<input type="checkbox"/>	
(2) 材料明細書の作成	<input type="checkbox"/>	
(3) 工程計画(材料搬入及び労務計画)	<input type="checkbox"/>	
(4) 輸送の確認(発送日程と集荷地,輸送機関)	<input type="checkbox"/>	
(5) 鉄筋置場の整備・動力・設備段取	<input type="checkbox"/>	
(6) 現場搬入・取込方法	<input type="checkbox"/>	
(7) 配筋足場計画(運搬通路)	<input type="checkbox"/>	
(8) ガス圧接継手・機械式継手・溶接継手 (適用範囲の決定・確認,圧接工の資格証明確認,技量試験等)	<input type="checkbox"/>	
(9) 材料試験 (径,のび,引張り,曲げ,圧接試験)	<input type="checkbox"/>	
2.施工図作成		
(1) 図面の調査,検討	コンクリート施工図,構造図(仕様書・配筋詳細図,断面リスト,仕様書照合)	
	<input type="checkbox"/>	
(2) 加工図の作成と承認	組立順序,詳細図,要所の現寸図	
	<input type="checkbox"/>	
(3) 他工事との関連と納まりの調査・検討	鉄骨,設備工事等,その他開口部補強,BOX類の納まり	
	<input type="checkbox"/>	
(4) コンクリート打継部及び外壁の誘発目地の配筋処置検討	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	
(5) 鉄筋位置,型状・間隔・被覆の保持方法検討	基礎梁うま,鉄骨かんざし,2段筋等	
	<input type="checkbox"/>	

確 認 の 事 項	該 当 の 有 無	記 事
(該当○有の場合は、必ず記入すること)		
(6) 繰手,定着,ストラップ,フープ,被覆等の基準・現寸図作成 基礎梁,片持梁,片持床,最上階柱,梁注意		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
3.労務の手配 労務予定表の作成(マンパワー,山くずし)		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
4.材料入場時の注意		
(1) 長さ,種類,員数		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
(2) ミルシート、ロールマークと現品との照合,プレートの保管		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
(3) 相当品の径の検査		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
5.加工・組立配筋中の注意		
(1) 加工検査 (折曲角度・半径・定着・形状・寸法)		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
(2) 材料の荷揚げ,荷降し仮置計画		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
(3) 組立・配筋検査(梁筋は落し込み前に検査)		
a. 鉄筋径,本数,配列,間隔,被覆(スペーサー),結束,梁・スラブ筋,特に二段筋の有効成		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
b. 繰手及び定着部の位置・長さ(圧接個所)		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
c. 補強筋(開口部,スリーブ貫通等)		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
d. 鉄筋付着物除去		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
e. 純鉄筋構造の割フープ禁止		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
6.コンクリート打設中の注意		
(1) 鉄筋位置形状及び被覆の保持修正,差筋 (片持スラブ並びに打放壁は特に注意)		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
7.その他		
(1) 材料の盗難,使用間違い予防策の検討		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
(2) 配筋検査手順(チェックシート)作成		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
(3) 監理者・官庁への工程届出及び官庁検査 (確認申請の指示による)		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
(4) 設計図通りに配筋できないとき,又は大きい台直しの補強を施工した記録作成		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		

## 2.1.2.要求品質・設計仕様

### (1) 鉄筋材料(○印は該当を示す)

JISG3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)規格品とし、  
全使用材のシート(規格証明書)を監理者に提出する。

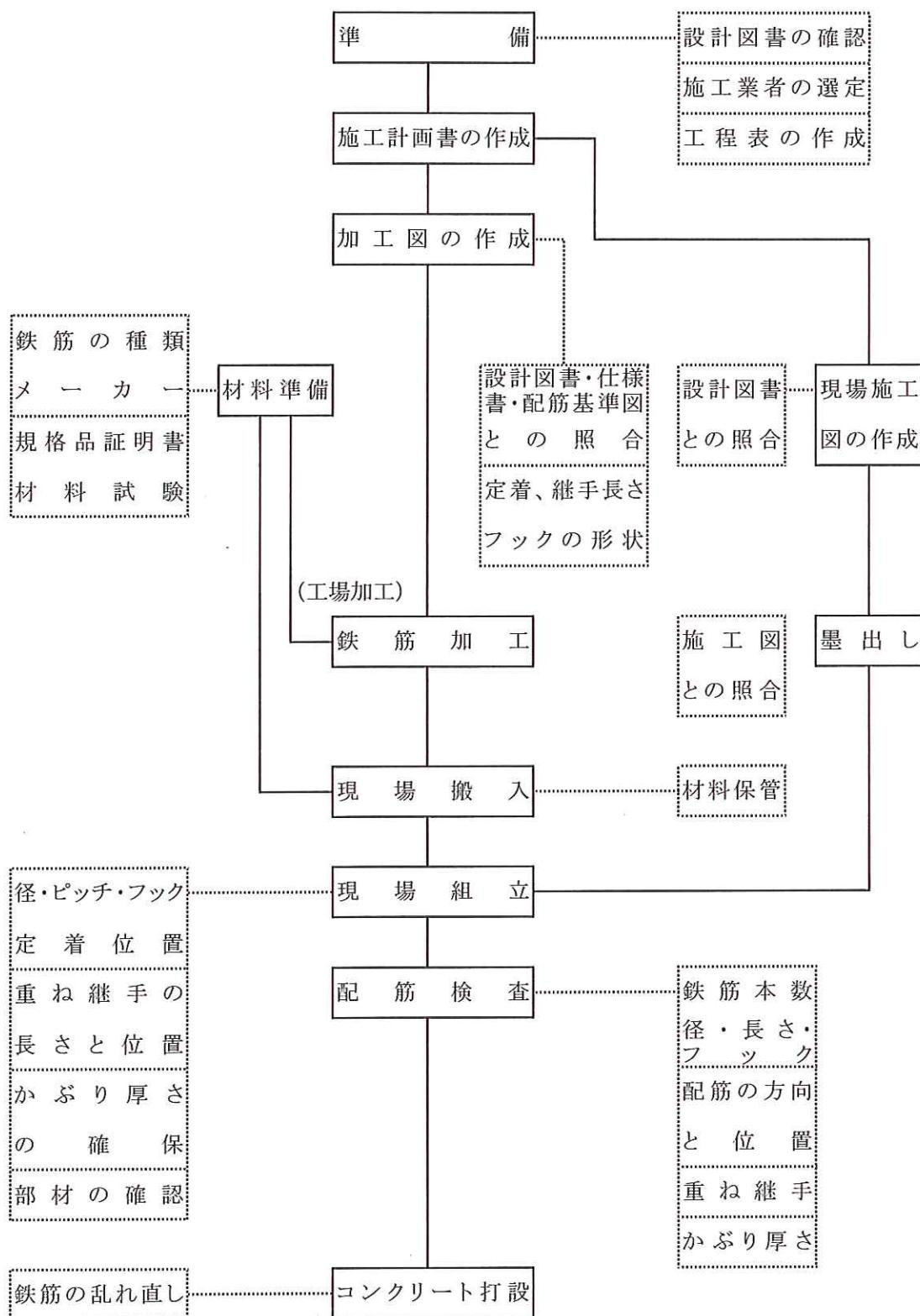
使用箇所	SD 295A	SD 345	SD 390	継手			
				重ね	ガス圧接	機械式継手	溶接継手
耐圧版							
基礎梁	主筋						
	あばら筋						
柱	主筋						
	帶筋						
梁	主筋						
	あばら筋						
床スラブ	主筋						
	開口補強						
壁	主筋						
	開口補強						
土間							

### (2) 鉄筋のかぶり厚さ

構造部分の種別		かぶり厚さ(mm)	
部位	位置	土に接しない部分	土に接する部分
スラブ・非耐力壁	屋内	30	/
	屋外	40	50
柱・梁・耐力壁	屋内	40	/
	屋外	50	50
地下外壁	/	40	50
基礎梁・つなぎ梁	/	50	70
擁壁・ドライエリア	/	50	70
基礎梁・つなぎ梁	/	50	70

### 2.1.3. 鉄筋工事施工フロー

本工事における鉄筋工事の作業の流れは以下の通りである



### **3. 安全・衛生管理**

#### **3.1. 安全・衛生管理**

##### **1. 一般共通事項**

- a.工事に先立ち、現場の運営管理に必要な、現場代理人を選任する。
- b.あらかじめ定められた工事計画書に基づいて、鉄筋工事の工事管理を行う。
- c.労働安全衛生法、その他の関係法令等に従って、工事現場の安全・衛生に関する管理を行う。
- d.工事に必要な、官公署その他への手続きは、速やかに行う。

##### **2. 現場の管理体制**

- a.現場代理人は、工事に当たり、現場組織体制を定め、監督員の承認を受ける。
- b.現場代理人は、工事関係者と協力し、鉄筋工事全体の円滑な進捗を図る。
- c.鉄筋工事に先立ち、当該工事に係る立地条件等を十分把握した上で、工事の内容に応じた適切な人材(監理技術者、主任技術者)を配置し、指揮命令系統の明確な現場組織体制を組むとともに、工事関係者に工事の内容や使用機器材の特徴等を周知させる。
- d.工事の一部を専門業者に請負せる場合は、必要に応じて専門業者から、施工要領書、作業手順書等の提出を求める。
- e.作業主任者を選任すべき作業については、労働安全衛生法に基づいて作業主任者を選任する。

##### **3. 工事現場の安全・衛生管理**

- a.工事に先立ち、安全工程表を作成し、これに基づいて工事全体及び工程毎の安全・衛生管理を行なう。
- b.関連業者を含めた安全衛生協議組織を定めるとともに、定期的に会議を開催し、混在作業の調整、使用機器等の配置・移動等に関する協議を行い、安全作業を図る。
- c.鉄筋工事に先立ち、緊急連絡体制、防火組織等の体制を整え、突発事故等に備える。
- d.必要に応じて、作業員の休憩所、更衣室、便所、洗面所等の設備を設け、作業員の衛生保持に努める。
- e.鉄筋工事現場においては、整理・整頓を行い、特に落下物による事故及び墜落等の事故防止に努める。
- f.鉄筋工事に当たって資格が必要な作業は、その有資格者に行わせる。
- g.作業員に対し、現場への新規入場の際に、現場における安全衛生上の教育を行う。
- h.粉塵による健康障害防止のため、作業員には、防塵マスクを着用、作業着等の清潔保持の励行に努めさせる。
- i.やむを得ず鉄筋工事現場外の道路上(上空を含む)において、作業し、車両・機械等を置き又は作動させる場合は、通行者等が安全に通行できるよう措置し、誘導員を配置し公衆災害の防止を図る。
- j.工事計画書・作業手順に基づいて、作業方法・作業内容・作業量等を作業員に周知させる。

#### 4. 火災防止

- a.火気を使用する場合には、その場所に不燃材料の囲いを設ける等引火・延焼防止する措置を講ずるほか、次の各号の掲げる措置を講ずる。
- (1) 火気の使用は、鉄筋工事の目的に直接必要な最小限度にとどめる。
  - (2) 火のつき易いものの近くで火気の使用はしない。
  - (3) 火気の使用場所のそばには消火器・簡易消火用具等の適切な消防用水を準備する。
  - (4) 作業員用のための暖房用等、直接工事以外の目的に使用する場合には、あらかじめ、その使用場所を指定する。

#### 5. 巡視

- a.現場代理人による鉄筋工事現場内及びその周辺の安全巡視を行い労働災害・公衆災害の防止に努める。
- b.鉄筋工事中に、危険が無いかを点検する。
- c.飛来落下物に対する養生設備の状況を点検する。

#### 6. 事故発生時の措置

- a.工事中に事故が発生し、又は公衆に危害を及ぼした場合には、直ちに応急処置及び関係機関への連絡を行うとともに類似の事故が再発しないよう対策を講じる。

### 3.3. 現場入場ルート図

※) 詳細地図を貼付し、ルートについて矢印を付けて明示する。

#### 4.その他

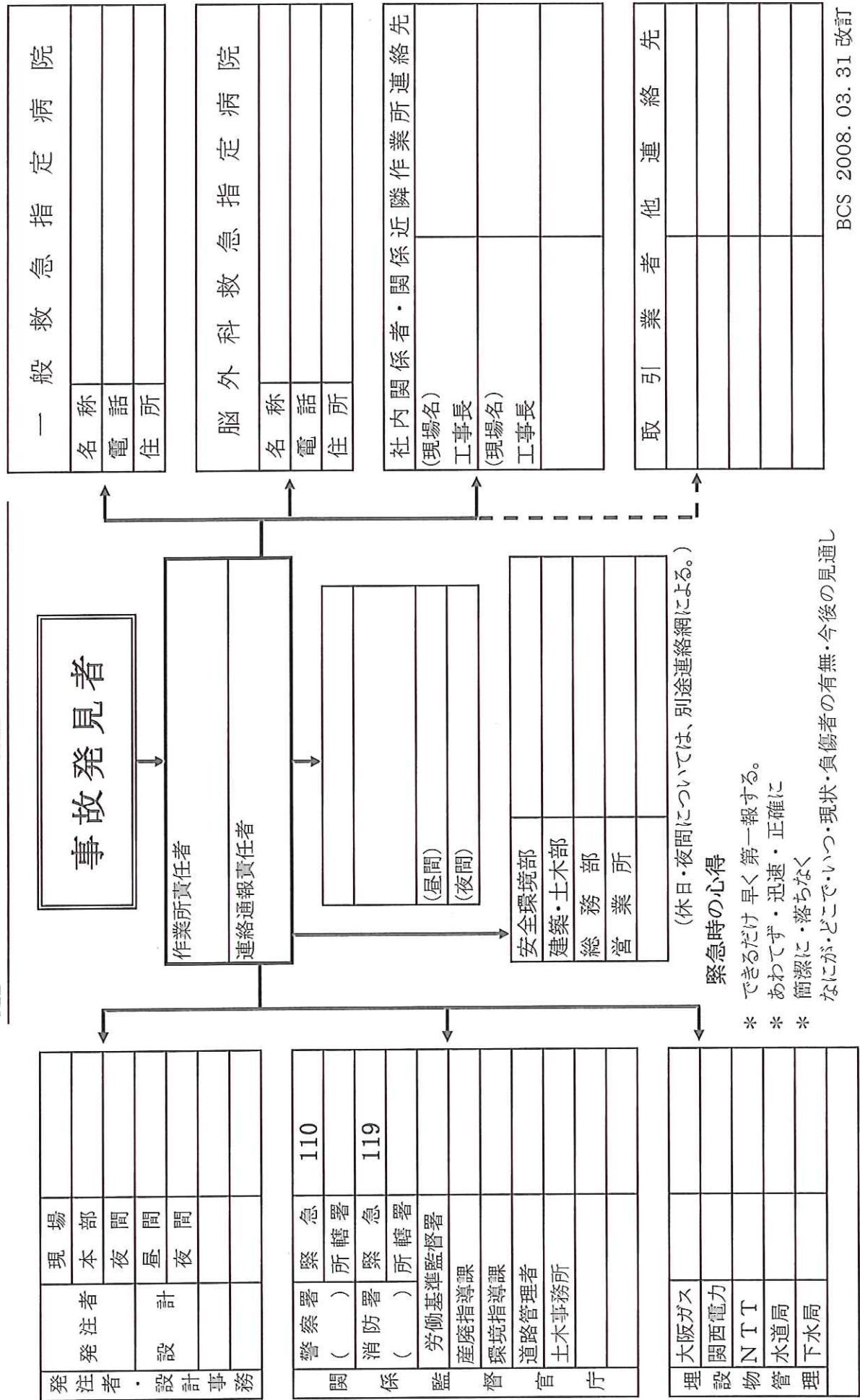
##### 4.1. チェックシート

###### 4.1.1. 作業前、作業中、終了後のチェックおよび責任分担

	項 目	責任分担○印		担当者 確 認	備 考
		当社	業者		
作業前	1) 火気使用場所の把握 関係者全員による作業計画の確認(現地KY)				
	道工具(ポンベ、バーナー、溶接機等)をチェックリストによる点検				
	2) 可燃物の除去 作業前日、周辺に可燃物がないことの確認				
	3) 火花養生 計画時の設備が完全に設置又は準備されているか				
	4) 消火設備 消火設備の位置、数量の確認(現地KY)				
	5) 防火管理組織および管理 前日までに統責者は各自に役割、職務を理解させる 作業前の各自の役割、職務の確認 監視人、散水者は選任したか(カラーチョッキ着用) 監視人: 散水者:				
作業中	6) 配管およびダクト				
	1) 火気使用場所の把握 時間を決めて当社、取引業者合同で巡回する 巡回時間: : . : 巡回者 : 当 社 取引業者				
	2) 巡回時確認事項 周辺の可燃物の有無 専任監視人、散水者は適正配置になっているか 消火設備は計画どおりに配置、維持されているか 仮設設備の維持管理状況の確認(火受け、足場等)				
	1) 作業終了後の巡回の実施 巡回時間: : . : 原則として2時間後は必ず実施する 巡回者 : 当 社 取引業者 原則として作業中の巡回メンバーと同じとする				
	道工具類、消火設備等が整頓されているか				
作業後					

### 3.2. 緊急時連絡体制

作業所名  
TEL FAX



### 1.2.2. 鉄筋工事概要書

## 1. 鉄筋工期

/ / ~ / /

## 2. 施工数量

### 3. 品質管理組織

工事担当者：\_\_\_\_\_

加工組立業者名：\_\_\_\_\_

鉄筋圧接業者名: \_\_\_\_\_

特殊継手業者名: \_\_\_\_\_

第三者検査機関名: \_\_\_\_\_